

## アルファルファの品種選定と栽培法

黒江秀雄・恒吉利彦・樋渡 隆 (鹿児島県畜産試験場)

### Hideo KUROE, Toshihiko TSUNEYOSHI and Takashi HIWATASHI : Comparison of Cultivars and Cultivation Method in Alfalfa

トウモロコシなどのホールクロップサイレージが普及しつつあるが、蛋白質含量やミネラル含量が低い欠点がある。これらの欠点を補うために、アルファルファなどのマメ科牧草を導入する必要がある。そこで、南九州に適するアルファルファの品種選定と播種期について検討したので報告する。

#### 1. 試験方法

品種選定試験は、第1表に示すデュピイ他7品種を1984年9月17日に播種し、1985年5月から1987年11月まで毎年7回ずつ刈取り3か年収量調査を実施した。

播種期試験は、ナツワカバを1985年9月9日、9月30日、10月18日の3回播種し、雑草の発生量や収量調査を実施した。

#### 2. 結果及び考察

利用初年目は、第1表に示すようにナツワカバが乾物収量1.765kg/10aで最も多収であり、ついでタチワカバが多収であった。普通種が1,324kg/10aで最も低収であった。利用2年目は、3月下旬に菌核病が発生したこともあり、初年目より全ての品種で収量が低下した。2年目は、ナツワカバが1,504kg/10aで最も多収であり、ク

リーピングが最も低収であった。利用3年目は、クリーピングと普通種は2年目より減収となったが、他の品種は増収した。3年目では、ナツワカバが1,644kg/10aで最も多収であり、クリーピングが最も低収であった。3か年の平均では、ナツワカバが1,638kg/10aで最も多収であり、ついでタチワカバが多収であった。クリーピングが最も低収であった。

利用2年目の3月下旬に菌核病が発生したが、第2表のように品種間差が認められ、タチワカバが最も強く、クリーピング、普通種、モアバの3品種は特に弱かった。

播種期と収量では、第3表のように9月9日播きが8回刈で1,716kg/10aと最も多収で、ついで10月18日播きが多収だった。9月30日播きは最も低収だった。9月30日播きが低収だったのは、播種当年の11月19日に刈取ったためと思われる。同じ日に9月9日播きも刈取ったが、その時の草丈は41.9cm、生草収量1,225kg/10aだった。9月30日播きは草丈19.2cm、生草収量580kg/10aで、若刈しすぎたために春の収量が低下したものと思う。

アルファルファの播種期と雑草率の関係についてみると、第4表のように9月30日播きが最も雑草率が低く、9月9日播きが最も雑草率が高かった。雑草の発生からみると9月30日播きが播種適期で年内刈りはしない方がよい。

第1表 アルファルファの品種別乾物収量(3か年の平均) kg/10a

品種	利用初年目	利用2年目	利用3年目	3か年の平均
デュピイ	1.524a	1.397ac	1.475ac	1.465ac
ナツワカバ	1.765a	1.504a	1.644a	1.638a
クリーピング	1.424bc	1.028d	864e	1.105d
ウイリアムズバーグ	1.597a	1.254bc	1.290bc	1.380bc
モアバ	1.454bc	1.158bd	1.178bd	1.263be
ソア	1.598a	1.165bd	1.220bd	1.328bce
タチワカバ	1.640ac	1.491a	1.640a	1.590a
普通種	1.324b	1.113bd	1.036de	1.158de
L.S.D(0.05)	293	160	244	197

第2表 菌核病に対する抵抗力

強	タチワカバ
	ソア
	ウイリアムズバーグ
	デュピイ
	ナツワカバ
	モアバ
	普通種
弱	クリーピング

第4表 アルファルファの播種期と雑草率

播種期	項目 比率(乾物当たり%)		
	牧草	広葉	イネ科
9月9日	39.5	46.4	14.1a
9月30日	57.0	42.8	0.2b
10月18日	45.9	53.8	0.3b
L.S.D(0.05) NS NS 7.6			

第3表 アルファルファの播種期と乾物収量

草種	播種期	1番刈	2番刈	3番刈	4番刈	5番刈	6番刈	7番刈	8番刈	合計
アルファルファ	9月9日	210 a	468 a	295 a	126	133	194	159	131	1.716 a
	9月30日	81 b	298 a	232 c	125	129	183	179	153	1.380 b
	10月18日	—	383 b	228 b	143	136	218	190	147	1.445 a
L.S.D(0.05)		72	54	47	NS	NS	NS	NS	NS	275

注) 刈取時期 9月9日区と9月30日区は、1番草を11月19日に刈取った。その他は、5月上旬からほぼ1か月間隔で刈取った。